

オープンハウス及び意見交換の場の開催結果概要

1 概要

(1) 日時，来場者数

【オープンハウス】

- ①令和5年10月12日（木） 午後6時～8時（28人）
- ②令和5年10月13日（金） 午後6時～8時（24人）
- ③令和5年10月14日（土） 午前10時～正午（61人）
午後2時～4時（60人）

【意見交換の場】

令和5年10月13日（金） 午後7時～10時45分（17人）

(2) 場所

- ①新川中原コミュニティ・センター
- ②③中央ジャンクション南側ランプシールド発進立坑内防音ハウス内

2 意見交換の場での意見

(1) BFランプについて

- ・BFランプ工事は本線工事より難しいと思うが，事故を起こさないと言えるのか。
- ・BFランプ工事の開始時期と掘進期間は。
- ・オープンスペースに一時避難するというのはどういうイメージか。
- ・BFランプ工事での新しい再発防止対策・取組はあるか。
- ・地表面変位計測はいつまでやるのか。巡回で地表面に異状が見つかったとき住民に知らせるのか。
- ・掘進作業時間が環境等の法令に違反していないのか。
- ・振動・騒音・低周波音の計測は問い合わせたらすぐに対応してくれるのか。
- ・仙川への漏出や振動・騒音など，工事の影響が想定されるなら工事をすべきではない。
- ・以前の家屋調査は10年以上前で経年劣化もあると思うが，それでも事前の評価基準として使用するのか。
- ・開通後，騒音・振動を感じるものがあつたらどう対応してくれるのか。

(2) 野川サイクリング道路の舗装の損傷について

- ・経緯を詳しく知りたい。
- ・なぜ勝手に補修したのか。原因が何か調査すべき。
- ・他の箇所にも穴がないか調査すべき。
- ・本来管理者が補修すべきものを事業者が直したということはトンネル工事の影響だと認めているということだ。

(3) その他

- ・ 東つつじヶ丘で聴診棒を持って歩いている作業員がいるが何を調査しているのか。
- ・ 低周波音被害については事業者の認識が甘い。一度発症したら小さくても気になるようになる。